



## 上巳・桃の節句

裕俊



三月三日は五節句の一つである桃の節句です。桃の花が咲き誇る季節で、その香りや姿がひな人形の傍に飾るのにふさわしく、また、桃の木が邪気を祓う神聖な木と考えられていたことから、桃の節句と呼ばれました。

また、上巳(じょうし)の節句とも呼ばれます。古代中国で上巳節と定められたのが由来で、旧暦三月の最初の巳の日の事です。この日に川へ入り、身の不浄を清めるという習慣があり、その習慣が日本に取り入れられ、そのうちに人形を川に流す流し雛という行事が生まれました。その当時はわらや草などで作る簡素な人形しか無かったのですが、人形を作る技術が発展、高級化し、流すのではなく飾るようになって現在のひなまつりに至りました。

五節句とは、一月七日「七草の節句」、三月三日「桃の節句」、五月五日「菖蒲の節句」、七月七日「笹の節句」、九月九日「菊の節句」の事です。全て植物にまつわっています。これは邪気を祓う為に、旬の植物から生命力を頂く、という所から来ています。節句という言葉は元々「節供」という言葉で、節の日に神にお供え物をして、無病息災を祈る行事でした。その為、七草の節句には七草がゆ、桃の節句には草餅、菖蒲の節句には粽(ちまき)、笹の節句にはそうめん、菊の節句には菊酒や栗ごはんをお供えます。

家族で楽しく行う事はもちろん良いですが、意味をきちんと知り、お子さんやお孫さん達に伝えていくという事も忘れないようにしていきたいですね。

## 弘法大師のことば 良啓

無始より以来 本より心空に住すれども  
覆ふに妄想を以てし 纏ふに煩惱を以てす

卍字義釈

私達の心は、本質的に仏様の心と同じです。でも、妄想と煩惱によって本来の心に戻り辛い状態になっています。

「つつい」とか「だつて」などの言葉を使っていませんか？  
それは、真つ白な心で生まれた私たちに、いつの頃からか「我」が出てくる影響だからです。

そこで、普段の言葉遣いを「そうです」や「お陰様で」に変えてみてください。そうすると、不思議！私たちの心が本来の仏の心に戻っていきます。

## 開創1200年 世界遺産高野山記念参拝

- ◆期間 5月8日(金)～5月10日(日)(2泊3日)
- ◆旅費 67000円
- ◆募集 3月9日～3月末日
- ◆募集人数 少人数での催行(先着順)

### 一押しポイント

- その① 宿坊 安養院(準別格本山)に宿泊致します。
  - その② 特別公開 御影堂を拝観致します。
  - その③ 当寺僧侶が山内を御案内致します。
- 詳細・申込はお電話で。担当 金城良啓がお待ちしております。



宿坊 安養院